

皆瀬1号幹線用水路植栽活動

十文字町の由来と思われるこの地域は、交差点の近くで、古くからの物流の要所であり、人・車・自転車の往來が活発でメインストリートになっております。

この道路と平行して皆瀬幹線1号用水路が流れて、その水路（ボックス）上部に植栽活動をしており、見事に人目線で彩られている花達は、ホッとさせてくれる休憩ゾーンになっています。

また、下準備の際は、通りの薬局さんから栄養ドリンクの差し入れもあり、植栽前から気持ちよく汗をかくことができ、作業後の充実感も一層高まりました。

このようなほんの小さな親切が人の心を丸くする、まさにこの活動がまわりに同じような影響を与える存在であり続けたいと願っています。



活動体制	
実施主体	十文字歩道の環境美化を考える会 水土里ネット雄物川筋
後援・連携	東北農政局平鹿平野農業水利事業所、平鹿地域振興局農村整備課、横手市農村整備課
実施期間	7月4日
参加者	十文字歩道の環境美化を考える会 地域住民 等 40人
報道関連	
活動実施年数	6年目（H21年～）
連絡先	〒013-0102 横手市平鹿町醍醐字浅舞山13-74 秋田県雄物川筋土地改良区 TEL. 0182-32-2244
その他	県特別賞（H22）県奨励賞（H24）

【活動内容に対する自己評価】 水土里ネット雄物川筋（佐藤 達也）					
○活動の目標及び達成率	目標	水路敷地を利用した植栽活動			
	達成率	80%			
○活動に対する評価	施設の持つ多面的機能の充実。				
判定基準	自己判定（達成度）		判定基準	自己判定（達成度）	
	判定	評価等		判定	評価等
1. 取組体制について			②運動の発展・拡大	B	
①役職員・組合員の参加	C	改良区全体に浸透させるようにするのが課題である。	③運動の計画性	B	植栽以外の土地改良区の維持管理水路の多面的機能をPRする必要が有る。
②後継者育成の工夫	C	担当以外の職員も多数参加しているが、育成とまではいかない。	4. 運動の成果		
2. 活動の意義性について			a. 組織活性化	C	この地区以外との温度差は否めない。
①基本理念の設定	B		b. 地域農業	D	
②地域の歴史等の伝承	C		c. 地域コミュニティー	D	日本型直接払いと提携できるものかと思案中。
③運動の先駆性	C	単体活動化になりやすいので、複合活動に発展させたい。	d. 地域資源管理	B	
3. 運動の継続性・発展性			5. 今後の課題等について		
①運動の継続性	B	各種事業を有効に活用している。	・目射しを遮る可動式のアーケード的施設があれば、尚一層人々の目にとまるのではないか。		

（自己判定）A：大いに達成している B：達成している C：少しは達成している D：達成していない E：その他